

(別紙1)

## 管理運営状況 評価シート【平成28年度】

(評価日 平成29年6月14日)

### 1 施設の概要

施設名	岩手県立水産科学館
所在地 電話・FAX HP・電子メール	宮古市日立浜町32番地28 TEL 0193-63-5353 FAX 0193-64-4855 http://www.city.miyako.iwate.jp/suisan/suisan_kagakukan.html
設置根拠	水産科学館条例
設置目的	(設置:昭和61年4月18日) 水産資源、水産技術等に関する資料の収集、保管、展示等を行い、県民の水産についての知識の普及及び教養の向上を図る。
施設概要	敷地面積、建物面積、主な施設、利用定員等 敷地面積 5,671m <sup>2</sup> 建物面積 1,535m <sup>2</sup> (常設展示室 600m <sup>2</sup> 、特別展示室 100m <sup>2</sup> 、集会室 70m <sup>2</sup> 、エントランスホール 135m <sup>2</sup> 等)
施設所管課	岩手県農林水産部水産振興課 (電話 019-629-5817 メールアドレス AF0013@pref.iwate.jp)

### 2 指定管理者

指定管理者名	宮古市
指定期間	平成27年4月1日～平成30年3月31日(3年間)
連絡先	宮古市産業振興部水産課 TEL 0193-62-2111

### 3 指定管理者が行う業務等

業務内容(主なもの)	管理運営及び企画全般、資料の収集、保管、展示、入館料収納事務、宣伝、広報等		
職員配置、管理体制	7名 (平成29年3月31日現在) (内訳) 正職員2名、非常勤職員3名 臨時職員2名	組織図	館長(非常勤) 一主査一主任一資料・水槽管理3名(非常勤2名・臨時職員1名)一事務補助1名(臨時職員)
利用料金	一般300円(※団体1人につき140円)、大学生・専門学校生等140円(※団体1人につき70円)、高校生以下無料 ※20人以上での来館は団体料金		
開館時間	9時から16時30分まで ※通常の開館時間外の入館希望者があった場合は、適宜対応	休館日	月曜日(祝日と重なる場合は一番近い平日) 年末年始(12月28日から1月4日まで)

### 4 施設の利用状況

(単位:人)

(利用者数、稼働率等)	前期間平均	指定管理期間				備考
		27年度	28年度	年度	期間平均	
第1四半期	3,526	2,570	2,598		2,584	
第2四半期	6,937	7,755	5,365		6,560	
第3四半期	1,516	1,765	1,354		1,560	
第4四半期	2,089	1,471	1,306		1,389	
年間計(実績)	14,069	13,562	10,623		12,093	
年間計(計画)		14,974	14,974		14,974	24年度実績

## 5 収支の状況

(単位：千円)

区 分	前期間 平均	指定管理期間				備考
		27年度	28年度	年度	期間平均	
収 入	指定管理料	30,272	30,864	30,864	30,864	
	入館料等	2,067	2,057	1,576	1,817	
	小計	32,339	32,921	32,440	32,681	
支 出	報酬	4,577	4,622	4,622	4,622	
	給料	7,416	7,828	7,973	7,901	
	職員手当等	2,857	3,239	3,376	3,308	
	共済費等	5,896	5,605	5,773	5,689	
	需用費	9,883	10,522	10,205	10,364	
	役務費	755	797	851	824	
	委託料	6,543	6,346	8,293	7,320	
	賃借料	894	853	842	848	
	小計	38,821	39,812	41,935	40,874	
収支差額	-6,482	-6,891	-9,495	-8,193		

## 6 利用者の意見等への対応状況

### (1) 利用者意見（満足度等）の把握方法

把握方法	入退館時間聞き取り、イベント時のアンケート	実施主体	県立水産科学館
------	-----------------------	------	---------

### (2) 利用者からの苦情・要望

受付件数	苦情 2件、要望 36件、その他 0件		
主な苦情、要望等	対応状況		
①夏期の館内冷房が過剰	水槽の水温上昇を抑えるための処置であることを、貼り紙で掲示している。入館者の申出については、口頭で説明している。		
②常設展示室が暗い	海中をイメージしたものであることを、貼り紙で掲示し、口頭でも説明している。		
<p>その他利用者からの積極的な評価等</p> <p>宮古近海に棲息するものを中心に、生きた魚介類を展示しており、入館者に好評である。</p> <p>館内での写真やビデオの撮影は自由に行ってもらっており、こちらも入館者に好評である。</p>			

## 7 業務点検・評価（※）

### (1) 業務の履行状況

項 目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
運営業務	仕様書及び関係法令に基づき次の業務を完全に履行すること。 <b>【業務区分】 管理運営業務</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>経理事務</li> <li>物品の整理、保管</li> <li>設備の操作</li> <li>試料の収集、保管、展示</li> <li>試料の調査、研究</li> <li>報告書の刊行</li> <li>入館者の案内、解説</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務全般について、職員間での情報共有を心がけ、適正な業務の遂行に努めた。</li> <li>経理事務について適正に遂行し、現金の過不足などは生じなかった。</li> <li>寄贈を受けた資料の管理・調査・保管について、適正に行った。</li> <li>物品の保管・管理、館内設備の管理について、適正に行った。</li> <li>施設のPRについて、宮古市公式</li> </ul>	A

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宣伝、広報</li> </ul> <b>【業務区分】</b> 入館料収納事務	<p>ホームページへの掲載、市内各施設へのポスター掲示、市内教育施設や県内観光業者への案内を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベントの際には、宮古市広報・市公式ホームページ・市公式フェイスブックへの掲載、各所へのポスター掲示依頼、市内教育機関等への案内、案内看板の設置、報道機関への情報提供を行い、周知を図った。</li> </ul>	
施設の利用状況	平成 24 年度入館の利用者数 (14,974 人) を達成すること。	実績 10,623 人で、目標を達成することができなかった。近隣の浄土ヶ浜施設でも、ゴールデンウィークのある 5 月と 9 月以降の秋期に、昨年より利用者数が落ち込んでおり、北海道新幹線の開業で観光客がそちらへ流出したこと、台風 10 号の被害による観光客の減少、鉾ヶ崎地区の道路が工事途中のため大型バスが利用を避けたことなどが、原因と考えられる。目標達成に向けて、より一層の努力を要すると思われる。	B
事業の実施状況	利用者ニーズに合った展覧会、研修会、講習会等を実施すること。	<p>開催した企画展等の入館者数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 収集資料展 1,258 人</li> <li>・ 深海ふしぎトークショー 50 人</li> <li>・ 磯の生物展 3,874 人</li> <li>・ 親子餌付体験 9 人</li> <li>・ 収蔵資料展～昔の魚網 295 人</li> <li>・ 新巻鮭作り講習会 84 人</li> <li>・ 鮭革細工教室 36 人</li> <li>・ わかめの学習・試食会 58 人</li> <li>・ カラー魚拓講習会 10 人</li> </ul>	A
施設の維持管理状況	<p>仕様書及び関係法令に基づき次の業務を完全に履行すること。</p> <p><b>【業務区分】</b> 管理運営業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 財産の維持管理</li> <li>・ 施設の防火管理、訓練</li> <li>・ 施設の警備</li> </ul> <p><b>【業務区分】</b> 清掃業務</p> <p><b>【業務区分】</b> 施設保守業務</p> <p><b>【業務区分】</b> 警備業務</p> <p><b>【業務区分】</b> 植栽管理業務</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 適正で効率的な施設の維持管理に努めた。</li> <li>・ 一日に複数回、館内の見回りを行い、設備の稼働状況の把握に努めた。</li> <li>・ 職員の防火意識の向上に努め、火器を取扱う際には、細心の注意を払うよう心がけた。</li> <li>・ 自衛消防訓練について、図上訓練・実働訓練を年 1 度ずつ行った。</li> <li>・ 専門的な業務については、専門の業者へ業務委託を行った。</li> </ul>	A
記録等の整理・保管	各種管理記録簿等を整備、保管し、県の要請に応じて遅滞なく提示すること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種記録簿等について、適切に整備・保管を行った。</li> </ul>	A
自主事業、提案内容の実施状況	—	—	—
(施設所管課評価)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成果のあった点…年間入館者は、昨年度を下回ったものの、企画展や体験学習教室の開催、市内のイベントとの連携など、利用者確保に積極的に努めており評価される。また、施設の維持管理等利用状況は概ね良好と認められる。</li> <li>・ 改善を要する点…特になし。</li> </ul>			A

(2) 運営体制等

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
職員の配置体制	各業務に適した者を適正に配置すること。	・館の運営管理、資料の整備保管、魚介類の飼育管理等、各々の業務に適した職員を配置した。	A
苦情、要望対応体制	苦情、要望に対する対応を適切に行わない、職員間で情報共有を行うこと。	・職員間の情報共有を図り、可能な限り迅速に対応し、対応できなかった事例は無かった。	A
危機管理体制（事故、緊急時の対応）	・災害時、緊急時における訓練を実施すること。 ・仕様書第11に定める対応（入館者に事故が発生した場合の応急手当等）を行うこと。	・自衛消防訓練を行い、その中で火災を想定した避難誘導及び消火活動訓練を行っている。図上訓練・実地訓練を各々年1回、計2回実施した。 ・AEDを設置している。取り扱い方法については、消防署員を講師に招き、年1回研修を行っている。 ・非常灯や誘導灯等について、不備を発見したら迅速に修繕を行っている。	A
コンプライアンスの取組み、個人情報の取扱い	・職員の法令遵守の意識を啓発する取組を行うこと。 ・個人情報の保護等を定めた基本協定第6章を遵守すること。	・法令順守について、職員に周知徹底した。 ・個人情報の取り扱いについては、細心の注意を払い、必要以上の個人情報収集しないよう心掛けた。宮古市にて作成した個人情報取り扱いについての手引書を備え付け、それに基づいた取扱いを行った。	A
県、関係機関等との連携体制	・県に適宜連絡を行ない、円滑な運営を行うこと。 ・緊急時の連絡体制を構築すること。	・県と適宜連絡を行い、円滑な運営に努めた。 ・非常招集系統図を作成している。宮古市水産課との間でも、非常時の連絡体制を構築している。	A
（施設所管課評価） ・成果のあった点…協定内容に従って、適切な体制により運営されていると認められる。 ・改善を要する点…特になし。			A

(3) サービスの質

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
運営業務	職員の接遇向上を図ること。	・職員間で、お互い気づいた点など指摘しあい、接遇向上に努めた。	A
利用者サービス	利用者のニーズにあったサービス提供を行うこと。	・開閉館時間前後の入館希望者については、基本的に受けいれている。 ・入館者数が多い8月第1・2週については、通常は休館日である月曜日でも臨時開館とした。	A
利用者アンケート等	・正確なニーズ把握の方法を検討し、実施すること。 ・ニーズ把握の結果を分析すること。	・来館者からの要望などがあった場合は、実現可能であるか、検討を行っている。 ・磯の生物展の期間中に、入館者へアンケート調査を行い、要望点を運営に反映できるか検討している。	A

(施設所管課評価) ・成果のあった点…利用者ニーズに合わせて柔軟に開閉館時間や臨時開館を行っているほか、集客力のあ る磯の生物展期間中に利用者アンケートを行い、ニーズ把握に努めている。 ・改善を要する点…特になし。	A
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---

(4) サービス提供の安定性、継続性

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
事業収支	管理運営計画と収支実績が乖離して いないこと。	ほぼ計画通りの実績となっている。	B
指定管理者の経営状況	—	—	—
(施設所管課評価) ・成果のあった点…概ね計画通りの実績と認められる。 ・改善を要する点…特になし。			B

※（注1）県記載欄：「事業計画・県が求める水準」、「評価指標」「施設所管課評価」  
指定管理者記載欄：「実績（自己評価）」

（注2）評価指標

- A：協定書、提案書等の内容について高レベルで実施され、また、計画を上回る実績（効果）があり、優れた管理がなされている。
- B：概ね協定書、提案書等の内容どおり実施され、計画どおりの実績（効果）があり、適切な管理が行われている。
- C：一部、改善・工夫を要する事項が見られたが、改善済み、または改善される見込みである。
- D：協定書等の内容に対し、不適切な事項が認められ、改善を要する。

8 指定開始年度から評価年度までの総合評価

(1) 指定管理者の自己評価

<p>① 成果があった取組み、積極的に取り組んだ事項 平成28年度においても、例年同様に適正で効率的な管理運営に努めた。 本年度は、当館の開館から30周年を迎えることから、30周年を記念する企画展を開催した。 当館の代表的なイベントである「磯の生物展」も、「開館30周年記念 第29回磯の生物展」と銘打って、7月19日（火）から8月21日（日）までの期間で開催した。 また、4月23日から5月22日まで「開館30周年記念 収集資料展」を、10月8日から11月27日まで「開館30周年記念 収蔵資料展～昔の魚網」を開催し、いずれも普段は収蔵庫に所蔵し公開していない資料を展示し、来館者から好評を得た。 また、5月4日には、国立研究開発法人 海洋研究開発機構（JAMSTEC）所属の海洋生物学者を講師に招き、「開館30周年記念 深海ふしぎトークショー」を開催し、こちらも50人の参加者を集め、好評を博した。 他にも、毎年11月末から12月半ばまで行っている「新巻鮭体験」については、前年度の2倍近い84人の参加者で行うことができた。 例年行っている「鮭革細工教室」「カラー魚拓講習会」や、昨年から行っている「宮古のわかめは日本一！わかめの学習&amp;試食会」についても、多くの方に参加いただき好評だった。 今後、参加者から好評を得ているイベントを継続しながら、更なる入館者の増加を図るべく取り組みたい。</p>
<p>② 現在、苦慮している事項、今後、改善・工夫したい事項、積極的に取り組みたい事項 本年度は、自然災害の影響などもあり、入館者数が前年度以前を大きく下回った。 入館者数の少ない冬季の対策は以前からの課題であるが、全期間的に入館者の増加に向けた取り組みが必要と考えられる。 市内外での施設やイベントのPRなど、より効率がよく効果的な方策を検討していきたい。</p>
<p>③ 県に対する要望、意見等 開館から30年を経過しており、館内設備に経年劣化が否めない。 館内機器で、耐用年数を経過している物など、館運営に支障が生じないようご配慮いただきたい。 開館以来、常設展示室の展示内容は大きく変化しておらず、その模様替えについても検討いただきたい。</p>

(2) 県による評価等

<p>① 指定管理者の運営状況について</p> <p>近隣の復興工事によるアクセスの悪さ、台風 10 号等の影響で利用者数が伸び悩んだが、30 周年企画展を開催したり、冬場の集客につながる企画展を開催したりと集客に向けた取組みを積極的に行っており、評価に値する。</p> <p>地元の漁業関係者等と良好な関係を築き、活魚や漁具を定期的に提供してもらうなど資料の収集にも積極的に取り組んでおり、総合的に高いレベルで、施設の管理運営が行われていると認められる。</p>
<p>② 県の対応状況について（自己評価）</p> <p>指定管理者と連携を密にして、計画的な施設の修繕に努めており、緊急性のあるものについて修繕工事を実施して円滑な管理運営に配慮した。</p>
<p>③ 次期指定管理者選定時における検討課題等</p> <p>施設竣工から 30 年が経過したことから、今後も計画的な維持修繕を実施して施設の管理運営を図っていく必要がある。</p> <p>また、常設展示室の内容も開館当初から変わっておらず古くなっていることから、サービスの維持向上に向け、計画的な模様替えについての検討が求められる。</p>

9 改善状況等

改善を要すると評価された項目（C、D評価の項目について）
特になし
改善状況
（指定管理者から県への報告年月日： 年 月 日）
改善状況の確認
（再評価年月日 年 月 日）